

令和3年度 教科書選定に係る基本方針

埼玉県立進修館高等学校

本校は「目指す学校像」として、『進徳修業』の精神に基づき、知・徳・体の調和のとれた人材を育成し、明るく活力にあふれ、地域から信頼される学校」を掲げて毎日の教育活動を実践している。今年度の重点目標の一つとして、「授業の工夫・改善に努め、個に応じた『主体的・対話的で深い学び』を支援して確かな学力の確実な定着・向上と第一志望をかなえる進路指導を実践する」ことを掲げている。

また、総合学科、電気システム科、情報メディア科、ものづくり科の4学科を有し、多様な進路希望を有した生徒が在籍していることから、学力幅も大きく、個に応じたきめ細かな学習指導を進める必要がある。加えて、大学進学希望の確実な実現、多様な進路希望や個性を生かす学びの実現、工業各分野のスペシャリストの育成など、それぞれの学科で学ぶ生徒の実態と学科の特色に配慮した授業を展開する必要がある。

こうした現状を踏まえつつ、生徒自らが主体的に学習し、生涯にわたって学び続ける態度を育成するため、以下の点に配慮しながら教科書選定を行うものとする。

- 基礎的・基本的な学習内容が理解しやすいよう配慮されており、さらに発展的な内容へと段階を追って学習を深化させる工夫がある。
- 問題意識を喚起し、探究的な内容に主体的に取り組めるよう配慮されている。
- 教材の構成や、質・量のバランスが取れており、無理なく学習できる内容となっている。
- 資料等の豊富さや適切さ、視覚に訴える工夫、記述の具体性やわかりやすさなど、学習への興味関心高め、理解を深める工夫がある。
- 実生活や社会との関連づけや、身近な教材を数多く盛り込むなどの工夫により学習の理解を促すよう配慮されている。
- 社会人として必要な論理的な思考力、公平、公正な判断力、表現力、コミュニケーション能力等を育むことができる内容となっている。
- 専門学科として、スペシャリストに求められる能力や倫理観の育成に配慮されており、これからの社会を支える人材を育成するための効果的な内容となっている。